

令和4年度 一般財団法人富山勤労総合福祉センター事業報告

1 事業概要

令和4年度の日本経済は、緩やかに持ち直している一方、世界的な金融引締め等による海外景気後退懸念や物価上昇など依然厳しい状況が続いております。

当財団の経営につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けながらも、令和4年度の営業売上はコロナ前の6割程度まで回復した一方で、光熱水費や原材料費の高騰などにより大変厳しい状況でありました。その中で、徹底したコストの削減を図る一方、それぞれの施設の特色を生かした、新たな魅力ある事業の展開やサービスのブラッシュアップなど、集客力・収益力の向上に努めてきたところです。

(1) 呉羽ハイツ

4年度は、コロナ禍から回復の兆しが見え始め、3年度と比べると営業売上が約2倍に伸びたものの、コロナ前の元年度と比べると約6割に留まっております。また、光熱水費や原材料費の高騰も加わり、引き続き、大変厳しい経営状況となりました。その間、人件費や経費を抑制する一方、宿泊や日帰りプランの料金見直しを行ったほか、全国旅行支援事業などへの参加や、法要客向けの戸別訪問、宿泊予約サイトコントローラの導入、企業・団体等へのDMの発送など、顧客の獲得に取り組んできたところです。

(2) とやま自遊館

4年度は、コロナ前の7割程度の営業売上を確保し、3年度まで委託していた清掃・食器洗浄業務の直営化など徹底した経費の削減により黒字化を目指してまいりました。営業売上については7月からのコロナの感染再拡大の影響を受けつつも、65%程度まで回復しましたが、光熱水費、原材料費の高騰や人材流出により、厳しい経営状況となりました。こうした中、本年1月からは、レストランのランチメニューを高品質なものに絞り込み、一部の価格を引き上げるリニューアルを行い、満足度を高め、新たな顧客を獲得するとともに利益率の向上に取り組んできたところです。

2 実施事項

(1) 呉羽ハイツ（その他1事業）

① 利用率の向上

ア コロナ禍における収益増を図るため、食事の部屋出しプランや県内の酒蔵とタイアップしたプランを新たに企画したほか、ビジネス客向けの素泊まりプランの設定、法要や町内会、企業等を対象とした宅配弁当についてメニューを充実しながら販売を実施した。

イ アフターコロナを視野に入れた、企業・各種団体等法人関係の新たな顧客の獲得やリピーター客の掘起こし、法要利用者の集客増を図るため、DMの発送や戸別訪問を行うなど、積極的かつきめ細やかな渉外活動を展開した。

ウ 宿泊予約サイトコントローラ（手間いらず）を導入し、複数のネット旅行サイトからの集客を効果的に行ったほか、ネット予約サイト「楽天トラベル」のトップページをリニューアルし、ネット予約者へのイメージアップを図った。

エ 県内外の大学や高等学校を中心に学生合宿プランの積極的な誘致活動を展開した。

オ 平日対策として、以下の各種プランを提供した。

- 1) 敬老会を対象とした、長寿会プラン(はつらつ・元気コース、のんびりプラン)
- 2) 企業を対象とした、宿泊研修プラン(新入社員研修)
- 3) 会席と風呂をセットにした、とくとかプラン

カ リニューアルしたスマートフォン対応のホームページやインスタグラムにより、県内外への情報発信に努めた。

② 利用者へのサービスの向上

ア 朝食を含め、県内産食材(富山湾で獲れた新鮮な海産物やコシヒカリ、呉羽梨等)を使った、富山らしい料理の提供に努めた。

イ 年末年始に各種イベント(年越しそば・振舞い酒)を実施した。

③ 施設・設備の改修

ア 客室の冷蔵庫や畳表の更新を計画的に実施した。

④ 経営改善に向けた取り組み

ア 4年春からの光熱水費の急騰や原材料費の高騰に対応した宿泊や日帰りプランの料金見直しを5年1月に行い、利益率の向上に努めた。

イ 「経営会議」の開催(毎月)

課長代理以上が参加し、経営状況の報告や当面の課題について共通理解を図るとともに、対応方針等について検討した。

ウ 「部課長会議」の開催(毎週)

課長以上が参加し、経営改善に向けた課題や進捗状況について共通理解を図るとともに、具体的な対応策について検討した。

エ 部署ごとに定期的なミーティングを行い、情報共有や課題の把握・検討により、業務改善を図った。

オ 職員全体の情報共有ツールとして、LINEを活用し、部署ごとだけではなく、全体の情報共有と事務の省力化に努めた。

⑤ 職員研修

ア 職員の知識や技術、接遇・マナーの向上のため、職場研修のほか、外部の各種研修会に参加した。

イ 定期的に消防訓練を実施し、職員の防火意識や消防技術を向上させ、安全な避難誘導の習得や施設管理に努めた。

ウ 利用客のバス送迎が多いことから、操車職員の安全運転の意識啓発を行い、安全な運行に努めた。

(2) とやま自遊館

① 利用率の向上(その他2事業)

ア ソーシャルディスタンスを十分に保てるホールでの宴会など施設の特色を生かし、コロナ禍でのニーズに応じた宴会を提案して誘客に努めた。

イ オープン以来実施しているビアホール(4年度は「夏のグルメ&ビアバイキング」と称して開催)のほか、「スイーツ&ランチフェスタ」を開催し、誘客に努めた。

ウ 婚礼獲得に向けた婚礼プロデュース会社への営業や合宿獲得に向けた旅行代理店への営業、法要営業など、積極的な渉外活動を展開した。

エ テイクアウト・デリバリーのできる会食用弁当・オードブルを販売した。

- オ. 1泊2食付きプランや、ゴールドジムとのタイアッププラン、環水公園内の立地を生かしたウォーキング・ランニングプランに加え、25周年を記念したプランなど、ニーズに応じた多様な宿泊プランを提供した。
 - カ 残り日数が少ないなど、予約が入る見込みがほぼ無い会議室や客室に、TKP（全国展開する貸会議室事業者で、初期投資不要、成功報酬型で連携）からオファーがあった場合、活用し利用率の向上を図った。
 - キ ウェブコンサルタントを活用し、ネット販売強化（宿泊プラン作成の遠隔支援、掲載順位向上他）やSNSの活用強化を図った。
 - ク 駅北ブルバール側の従業員食堂壁面に催事案内幕を設置し、道行く多くのお客様に時期に応じた催事案内を行った。
 - ケ 職員全員が営業マンとなりチラシの頒布など誘客活動を実施したほか、新聞、雑誌等の媒体を活用した広報活動を実施した。
- ② 利用者へのサービスの向上（その他2事業）
- ア 全客室への空気清浄器の設置やアメニティグッズの充実を図った。
 - イ 宿泊予約サイトコントローラの活用により数カ月先までの予約状況を把握し、予約の少ない日には、積極的に早割プランや朝食付きプラン等の販売を行った。
 - ウ スマートフォン対応ホームページの他、費用のかからないFacebook、インスタグラムを活用した積極的な広告・宣伝活動を実施した。
 - エ 自遊館の新たな名物料理「天門橋カレー」を土日祝日限定で販売した。
 - オ 1階ロビーにおいて「オルゴールフェア」を開催した。
 - カ キャッシュレス決済により利用者の利便性向上を図った。
- ③ 経営改善への取り組み（その他2事業）
- ア 効率的な運営を行うため、民間出身で経営再建実績のある支配人を配置した。
 - イ 支配人が全職員に対して、今後の経営改革の方針を説明する「経営方針説明会」を開催した。（随時）
 - ウ 課長代理級以上により経営状況報告を行うとともに、当面の課題について検討する「経営会議」を開催した。（毎月）
 - エ 係長級以上によりアンケートの分析等を行い、顧客満足・従業員満足等を検討する「全体会議」を開催した。（毎月）
 - オ 従業員用意見箱を設置し、意見に対する改善策を若手職員がとりまとめ、全体会議に提案する「次世代若者会議（YGM）」を開催した。
 - カ 営業員から課長への活動報告（毎日）、課長から支配人への売上進捗状況・週間活動スケジュールの報告（毎週）、実績の分析と次月対策の検討（毎月）を行う「営業会議」等を開催した。
 - キ 営業の意見も踏まえたメニューを検討する「献立会議」を開催した。（随時）
 - ク 売上など経営に関する情報を共有する「朝礼」を開催した。（毎日）
 - ケ これまで委託していた清掃・食器洗浄業務の直営化により経費を変動化し、徹底した削減を図った。
 - コ 職階（課長代理、係長等）とは別に、「マネージャー（課長代理級）」「サブマネージャー（係長級）」等の呼称を支配人が与えるマネージャー制を実施した。
 - サ インフォーマットの活用により、従来の伝票作業を削減して、リアルタイムでの原価管理を行うなど、デジタル化を推進した。

- シ 中小企業向け職員間情報共有サイト「サイボウズ」(各職員スケジュール、掲示板、メッセージ他)の活用により、職員間の情報共有と連携を一層強化した。
- ス コロナ禍において、より非接触型の事務効率化が求められている中で、企画立案の際のサイボウズワークフローの活用や、総務課内での稟議回覧プロセスの簡素化など事務の効率化をさらに進めた。
- シ 総務課内での稟議回覧プロセスの簡素化など事務の効率化を図った。

④ 職業相談等の提供 (公1事業)

ア 施設の貸与 (2階会議室 (就業相談室))

就業相談など労働者福祉に関する用途のため、国、県の就労支援施設や一般県民に対して、無償で貸与した。

注記：実施事業の分類について

特例民法法人から一般法人への移行に伴い、実施事業を移行認可申請時の分類により記載することが求められていることから、次のとおり表記しております。

【呉羽ハイツ】 その他1事業 = 呉羽ハイツ運営管理

【とやま自遊館】 公1事業 = 施設の貸与(公益に関する事業で勤労者の福祉の向上を目的とするもの)

その他2事業 = とやま自遊館運営管理

その他3事業 = 受託事業

3 利用人員数

(1) 呉羽ハイツ

令和4年度は、利用人員 77,815 人（前年対比 174.4%）、営業収入 3 億 7,753 万円（前年対比 200.8%）となった。

（単位：人）

区 分	令和4年度 利用人員 a	令和3年度 利用人員 b	比較 a-b
会議・研修	11,402	7,801	3,601
宿 泊	17,954	9,417	8,537
宴 会 (法 要)	16,304 (5,505)	7,438 (3,200)	8,866 (2,305)
休 憩	11,471	8,193	3,278
レストラン	6,242	4,800	1,442
喫茶・売店	13,837	6,903	6,934
そ の 他	605	70	535
合 計	77,815	44,622	33,193

(2) とやま自遊館

令和4年度は、利用人員 95,866 人（前年対比 118.5%）、営業収入 3 億 2,453 万円（前年対比 132.8%）となった。

（単位：人）

区 分	令和4年度 利用人員 a	令和3年度 利用人員 b	比較 a-b
会議・研修	10,757	8,233	2,524
宿 泊	8,830	8,230	600
宴 会	9,937	7,876	2,061
レストラン	49,039	44,098	4,941
ホ ー ル	15,897	11,030	4,867
就業相談室	1,406	1,435	▲29
合 計	95,866	80,902	14,964